

力を育む R4.6.8



みかん組に遊びに行った時のこと。
大きな紙にたくさんの線路、電車を走らせて…
「楽しそう!」「作ってみたい!」
部屋に戻り早速始めましたよ!

画用紙を繋げた大きな紙にペンで線路を描き始めます。最初はそれぞれ描いていたけれど、友だちと繋げてみよう…!

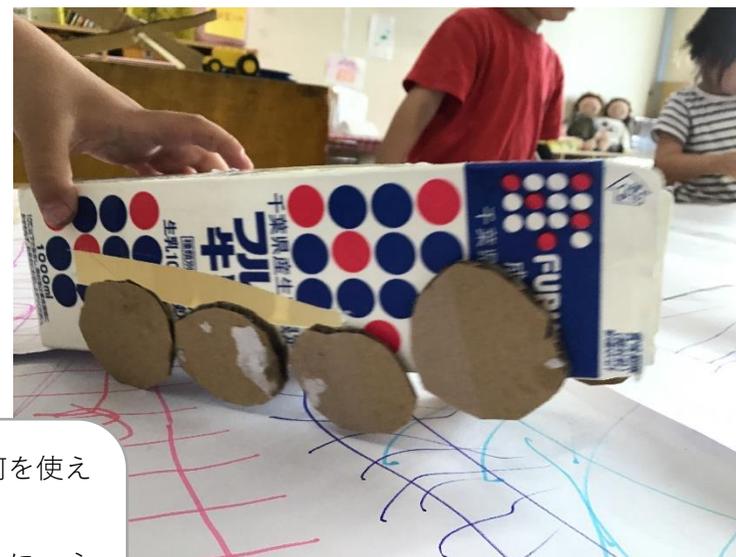
この電車



線路ができると次は電車。みかん組から牛乳パックを借りてきたAちゃん、
「これを電車にしたらどう?」
「それいいね!!」
ドアや窓を切り抜いてもらい、電車の完成!



電車に車輪が付いていない事に気づき、何をえば車輪ができるか考えていました。
最初は画用紙で作って見ましたがすぐにふにゃふにゃに・・・
「硬いのがいい!」とダンボールで作って見る事



きっかけはみかん組の電車遊びでしたが、どうしたら電車になるか子ども達なりに考えていました。
大人がヒントを出すのは簡単ですが、子ども達の考える力を育みたい、信じたい、その思いからヒントを出さず「待つ」ことにしました。
遊びの中から発見し、友だちと共有し楽しむ。さらに子どもの「こうしたらどうだろう?」という探求心に触れ、私達も発見がありました。
これからも「待つ」ことを大切に子ども達の力を信じていきたいです。